

東京都シルバーパスの負担軽減へ制度改善を求める意見書

超高齢社会を迎え、高齢者の生活を支え社会参加を促進する上で、移動手段としての交通機関の充実とその利用の改善は重要な課題となっている。この点で東京都が実施している 70 歳以上の高齢者を対象としたシルバーパス制度は、多くの高齢者に利用され、歓迎されている大事な施策である。

しかし同時に、シルバーパスは制度発足当時は無料であったものが、その後利用者の費用負担が導入され、現在は住民税非課税または合計所得金額が 125 万円以下の高齢者は 1,000 円、それを超える所得の高齢者は一律に 2 万 510 円の負担が求められるものとなっている。このため 70 歳以上人口に占めるシルバーパスの利用者の比率は、かつての 7 割台から 4 割台へと激減し、制度の趣旨である高齢者の社会参加、高齢者福祉の充実に逆行するものとなっている。

よって狛江市議会は東京都に対し、東京都シルバーパスの負担軽減を図るため、一定所得を超える高齢者の費用負担が一律 2 万 510 円となっている現行制度を改善し、3,000 円パスや 5,000 円パスなど所得に応じた軽減パスを発行するよう強く求めるものである。

以上、地方自治法第 99 条の規定により意見書を提出する。

平成 30 年(2018 年) 6 月 28 日

東京都狛江市議会

平成 30 年 6 月 28 日 原案否決